

持続可能な医療保険制度を目指して

午前の部 10:00~12:15

10:00 開会挨拶

10:10 委託研究Ⅱ期中間報告

摂南大学 小川 俊夫 教授

「生活習慣病の疾病別医療費の地域差に関する研究」

東北大学 藤井 進 准教授

「支部単位保険料率の背景にある医療費の地域差の要因に関する研究」

岩手医科大学 丹野 高三 教授

「機械学習を用いた生活習慣病の治療行動予測モデルの構築」

東京大学 飯塚 敏晃 教授

「予防医療が本人と家族に及ぼす効果に関する研究」

京都大学 井上 浩輔 准教授

「メンタル疾患・生活習慣病の発症リスク削減、
医療費適正化に向けた機械学習予測モデルの構築と因果推論」

コメンテーター：慶應義塾大学 岡村 智教 教授

(全国健康保険協会理事)

11:15 協会けんぽ調査研究報告

長野支部

「健診機関による早期受診勧奨の状況調査」

三重支部

「特定保健指導における行動変容と個人特性(性格)との関連性」

静岡支部

「バイオ医薬品の使用実態と後続品差額通知基準の検証」

午後の部 13:30~16:00

13:30 委託研究Ⅰ期最終報告

慶應義塾大学 勝川 史憲 教授

「機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と
特定保健指導の効果判定に関する研究」

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

磯 博康 グローバルヘルス政策研究センター長

「生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による
予防効果に関するコホート研究」

上智大学 中村 さやか 教授

「医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明：
健康状態と治療の質を考慮した医療費適正化を目指して」

京都大学 福岡 真悟 准教授

「エビデンスに基づく保険者機能の強化：ラーニング・ヘルスシステム」

コメンテーター：慶應義塾大学 後藤 励 教授

15:05 総合討論

「協会けんぽ加入者の健康度の向上に向けて」

討論者：慶應義塾大学 勝川 史憲 教授

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

磯 博康 グローバルヘルス政策研究センター長

上智大学 中村 さやか 教授

京都大学 福岡 真悟 准教授

慶應義塾大学 後藤 励 教授

全国健康保険協会 安藤 伸樹 理事長

進行：慶應義塾大学 岡村智教 教授

(全国健康保険協会理事)

15:55 閉会挨拶

フォーラム 調査研究

第9回

協会けんぽ

The 9th
Annual Forum of
Health Insurance
Research

2023年

6月6日 火

10:00~16:00 / 受付 9:30~

※YouTubeライブ配信・アーカイブ配信予定

【会場】一橋大学 一橋講堂

申込方法

※YouTube配信は事前申込なしで視聴可能です。

会場参加ご希望の方は、
協会けんぽホームページからお申込みください。

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ



お申込み多数の場合は、お断りする場合があります。

【参加費】無料

会場のご案内

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂

●東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
『神保町駅』A8、A9出口から徒歩4分

●東京メトロ東西線
『竹橋駅』1b出口から徒歩4分



全国健康保険協会本部 企画部調査分析・研究グループ

〒160-8507 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 6F

TEL/03-6680-8476

FAX/03-6680-8899